

ニューズレター 2017 年度第 2 号

日本音楽表現学会 2017 年 11 月 30 日発行

日本音楽表現学会 2018-19 年度会長・理事選挙特集

目 次

【巻頭言】音楽が鳴り響く研究活動 加藤富美子	2
日本音楽表現学会 2018-2019 年度会長・理事選挙	3
ごあいさつ		
1) 選挙管理委員会の任務		
2) 選挙日程		
3) 選挙実施方法		
4) 選挙公示		
5) 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き(付・関係各種書式)		
6) 2018-19 年度会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者について		
【随想】一人多役の箏曲の世界 安藤 珠希	9
新入会員紹介	10
日本音楽表現学会後援コンサート等情報	11
会員による新刊・CD 等リリース	13
事務局からの重要なお知らせとお願い	14
日本音楽表現学会第 16 回大会発表募集	18
日本音楽表現学会第 16 回大会のご案内	19
2017 年度役員・委員等一覧	20
編集後記	20

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail : music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

音楽が鳴り響く研究活動

加藤 富美子（音楽教育／副会長）

今、2017年を振り返ってみて、私にとって何といっても大きな出来事は第15回（クロッシング）大会の開催校としてその運営にあたったことである。本学会の設立間も無い頃から会員として所属し、その当時の機関誌の編集にあたりはしていたものの、その後、積極的に学会活動に関わってはきていなかった。そのため、このたびの大会開催を通して、本学会の研究活動の特質を身をもって感じる事ができたことは、目からウロコという感じであった。

この、私にとって大きな発見だった、本学会の研究発表の面白さをあげていくことにする。まず、当然といえば当然なのだが、音楽の実演が含まれる発表がいかに多かったかに、一番に驚かされた。大会運営にあたった者として、機材一覧での楽器使用からみてみたい。サロン、研究発表、ワークショップを通して、ピアノを使用した発表が全体の約4割にあたる20件、この他の楽器として我が国の箏、三味線、中国の古箏、ネパールの伝統楽器などなど伝統的な楽器の数々が加わり、さらにはシンセサイザーなど現代の楽器も加わった。そしてもちろん、日本歌曲からわらべうたまで、声による実演を含んだ研究発表やワークショップも10を越えたと思われる。

音楽表現を研究対象とする日本音楽表現学会としては実際の表現を通じた発表をすることは当たり前のことかもしれない。しかし、私にとっては、音楽研究のあり方、音楽教育研究のあり方としても、音楽表現を基軸におくべきだという基本を改めて本学会の研究発表の形態から教えてもらうことができた。

次に、会員の研究内容の広がりについても驚かされた。ここにその具体を示す余裕はないが、音楽学、音楽教育学が研究対象とするあらゆる分野・領域を表現を通して研究していく学会のように思われた。作品解釈、楽曲分析、演奏解釈、演奏効果、演奏傾向、応用演奏力、音楽経験、心理的効果、教育的意義などが、鳴り響く表現を通して実証が試みられている点の本学会の大きな特質の一つであり、大きな魅力となっていると改めて感じた。

さらに、個人的には、日本の伝統音楽への関心の高さにも驚かされた。ワークショップ、共同研究、

あるいは学会企画統一テーマパネルディスカッションなどで、三味線の音色、お稽古、能などが、実演、実践事例を通して取り上げられていた。いずれも多くの関心を集め白熱した議論が続いていた。特に、大会最後の時間枠で行われた能のワークショップでは、会場担当が片付けに困るほど、いつまでも参加者が立ち去らずに実践をめぐっての懇談が続いていたことをよく覚えている。これは、他の音楽関連の学会でも感じることであるが、我が国の伝統音楽に自らの感性をもって向き合おうとしている人が増えている。伝統が大切だからではなく、一人の表現者、研究者として自らの感性が希求するものとしての関心である。

この動きのなかで、特に素晴らしいと思うのは、自らの専門分野を問わずという点である。今大会で身近に体験したことで言えば、受付で大活躍していらしたピアノや声楽を専門とする方々が、「これから義太夫のお稽古よ！」と学会統一企画に嬉しそうに出かけていかれた瞬間のことを思い出す。「ああ、こういう時がやってきたんだな。なんて、ステキなこと！」と感動した。

さて、大会運営にあたることによって発見することができたこれらの数々の本学会の特質。これを自身のこれまでと今後に向けてみて、本稿を閉じることにした。世界の音楽や日本の音楽の教材化を主たる専門としてきた私だが、実は10数年前から、まったくの専門外である、西洋音楽の様式による日本の〈うた〉をどのように歌うかにこだわり続け、専門家にレッスンを受け続けてきている。聞き取りやすい日本語によるオペラの上演活動ももう10本ほどになる。「なぜ？」と周囲から言われ続けている。しかし、音楽への向き合い方として、専門以外の何か一つを、同時に並行させながら研究や演奏を進めていくことが自身にもたらしたものは、途轍もなく大きいと思っている。本学会の大会から、表現を通しての研究活動、専門を越えての研究関心の広がり示唆を受けた今、これらを生かした自身の学会発表に向けてさらにがんばっていきたい。

日本音楽表現学会 2018-19 年度会長・理事選挙

選挙管理委員長 笹野恵理子

ごあいさつ

2018年7月1日～2020年6月30日任期の会長・理事選挙は、笹野恵理子、大澤智恵、樫下達也の3名が選挙管理委員会のメンバーとして、業務を担当いたします。間違いが起これないように慎重に取り組みたいと考えていますので、よろしく願いいたします。委員会の任務は右の7点です。みなさまのご協力を得ながら、任務を滞りなく進めていきたいと思っております。ご協力をよろしく願いいたします。

1. 選挙管理委員会の任務：

- 1) 選挙日程の作成
- 2) 選挙資格者及び被選挙資格者名簿の作成
- 3) 選挙の公示
- 4) 投票用紙の作成・送付
- 5) 投票用紙の回収・開票
- 6) 選挙結果の報告
- 7) 2018-19年度役員決定の事務手続き

2. 選挙日程：

選挙公示 2017年11月30日(木) 於：「ニューズレター No.2」誌上
推薦・立候補受付期間 2018年1月4日(木)～2月4日(日) 当日消印有効
被選挙人名簿、投票用紙等の作成・送付 2018年2月8日(木) 於：学会事務局
投票期間 2018年2月15日(木)～3月15日(木) 当日消印有効
開票・選挙結果を会長へ報告 2018年3月24日(土) 於：学会事務局

3. 選挙実施方法：以下の規定に基づいて進めます。

日本音楽表現学会選挙規定

- | | |
|---|---|
| 1. 選挙方法は無記名投票による。 | が特定できる記載がなされているときは、その |
| 2. 投票権者の確認は、返信用封筒に記された発信人名によって行う。発信人名の記入が無いときは、封入されたすべての投票は無効とする。 | 投票はすべて無効とする |
| 3. 投票権者は、選挙管理委員会指定の投票用紙を用いて、定められた期日までに委員会に到着するように投票しなければならない。理由の如何を問わず、代理投票は認められない。 | 8. 選挙管理委員会は、当選者、次点者および次々点者の氏名と順位、得票数を選挙結果報告書に記載し、開票に立ち会った委員全員の署名を付して会長に提出するものとする。 |
| 4. 候補者が定数を超える場合には、投票用紙には、定められた人数以内の被選挙人名を記入するものとし、これを超えて記入した場合は全部無効とする。 | 【附則】
1. 役員の任期は当該年度7月1日から始まるものとする。 |
| 5. 候補者が定数と同数の場合には信任投票とし、投票用紙に記載された候補者名簿の信任する被選挙人の氏名の上に○印を記入するものとする。 | 2. 役員に欠員を生じたときは、就任の日から6カ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6カ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。 |
| 6. 投票用紙の記載が不明確な票については、選挙管理委員会が有効か無効かの判定を行う。 | 3. 本規定は2004年2月1日から実施する。 |
| 7. 投票用紙または投票用紙用小封筒に、投票者名 | 4. 本規定は2010年6月12日から実施する。 |
| | 5. 本規定は2012年6月23日から実施する。 |

4. 選挙公示：選挙規定に基づいて、2018-19 年度役員選挙を以下のように公示します。

2018-19 年度役員選挙公示

2017 年 11 月 30 日

日本音楽表現学会会員のみなさま

日本音楽表現学会選挙管理委員会

日本音楽表現学会会則第 11 条、12 条および、日本音楽表現学会役員選出に関する内規に基づき、2016-17 年度の役員選出のための選挙を下記のように行います。

記

選出役員：会長 1 名、理事 8 名

任 期：2018 年 7 月 1 日（日）～ 2019 年 6 月 30 日（日）

方 法：推薦・立候補制

推薦・立候補受付期間：2018 年 1 月 4 日（木）～ 2 月 4 日（日）当日消印有効

被推薦者・立候補者の公示および投票用紙等の作成・送付：2018 年 2 月 12 日（月）

投票方法：無記名投票で郵送

投票期間：2018 年 2 月 15 日（木）～ 3 月 15 日（木）当日消印有効

開 票：2018 年 3 月 24 日（土）

（結果を即日会長へ報告、ニューズレター 2017-No.3 に掲載）

結果承認：2018 年 6 月 9 日（土） 於：2018 年度総会

5. 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き：

推薦・立候補に関する手続きは以下の通りです。本学会の充実と発展のために会長と理事に相応しいと思われる方を候補として選出します。会員のみなさまの積極的な推薦や立候補をお待ちします。

2018-19 年度会長・理事の推薦・立候補に関する手続き

1. 推薦・立候補受付期間：2018 年 1 月 4 日（木）～ 2 月 4 日（日） 当日消印有効

2. 提出書類：（選挙の告示時に公表）

1) 推薦の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 1、2、4、5）をご参照下さい。

・ 1 名の推薦につき、推薦者 2 名と推薦理由 A 4 用紙 1 葉

・ 本人の承諾書と簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

2) 立候補の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は（様式 3、6）をご参照下さい。

・ 学会に関するポリシー A 4 用紙 1 葉

・ 本人の簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

* 紙媒体は郵送で、データはメールでお送り下さい。

3. 送付先：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

日本音楽表現学会気付選挙管理委員会

2018-19 年度会長・理事選挙 推薦および立候補届出様式

<p>(様式1) 2018-19 年度会長選挙推薦用紙</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>以下の会員を会長候補者として推薦いたします。</p> <p>被推薦者氏名； _____</p> <p>推薦理由</p> <p>_____</p> <p>推薦者氏名 (自署) _____</p> <p>推薦者氏名 (自署) _____</p>	<p>(様式2) 2018-19 年度会長選挙推薦承諾書</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>会長候補者としての推薦を承諾いたします。</p> <p>被推薦者氏名 (自署)； _____</p> <p>経歴； _____</p> <p>_____</p> <p>主な研究業績 (5～10点)</p> <p>_____</p>	<p>(様式3) 2018-19 年度会長選挙立候補用紙</p> <p>p.1</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>私は、会長候補者として立候補いたします。</p> <p>立候補者氏名 (自署)； _____</p> <p>学会に関するポリシー； _____</p> <p>_____</p>	<p>p.2</p> <p>経歴； _____</p> <p>_____</p> <p>主な研究業績 (5～10点)</p> <p>_____</p> <p>本学会におけるこれまでの活動</p> <p>_____</p>
<p>(様式4) 2018-19 年度理事選挙推薦用紙</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>以下の会員を理事候補者として推薦いたします。</p> <p>被推薦者氏名； _____</p> <p>推薦理由</p> <p>_____</p> <p>推薦者氏名 (自署) _____</p> <p>推薦者氏名 (自署) _____</p>	<p>(様式5) 2018-19 年度理事選挙推薦承諾書</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>理事候補者としての推薦を承諾いたします。</p> <p>被推薦者氏名； _____</p> <p>経歴； _____</p> <p>_____</p> <p>主な研究業績 (5～10点)</p> <p>_____</p>	<p>(様式6) 2018-19 年度理事選挙立候補用紙</p> <p>p.1</p> <p>____年 ____月 ____日</p> <p>私は、理事候補者として立候補いたします。</p> <p>立候補者氏名 (自署)； _____</p> <p>学会に関するポリシー； _____</p> <p>_____</p>	<p>p.2</p> <p>経歴； _____</p> <p>_____</p> <p>主な研究業績 (5～10点)</p> <p>_____</p> <p>本学会におけるこれまでの活動</p> <p>_____</p>

6. 2018-19 年度 会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者について

投票権者は被選挙人名簿作成期日（2017年11月15日）の時点で日本音楽表現学会の会員資格を有する者です。なお、音楽活動を本名以外で行っていらっしゃる方で、芸名で登録されている方については、そちらの氏名を表示しています。

今年度末に2期目を終える会長はいません。下線を付した会員は今年度で2期目を終了する理事であり、今回、理事について被選挙資格はありません。また、網掛・白抜の会員は選挙管理委員であり、会長、理事ともに被選挙資格はありません。

投票権有資格者・被投票権有資格者名簿

個人情報に付き削除しています。

個人情報に付き削除しています。

個人情報に付き削除しています。

一人多役の箏曲の世界

安藤 珠希 (箏曲・音楽教育)

「三味線も弾くのですか？」とよく聞かれる。現在、私の名刺には「生田流箏曲・地歌三絃・十七絃・胡弓・音楽教育」と書かれている。箏の演奏をしていることが多いため、名刺を渡した先方は「箏も三味線も弾く」ことに驚くようだ。本当は「生田流箏曲」だけで生田流の箏と地歌の三味線（習慣的に三絃と表記される。長唄三味線や津軽三味線とは違う）を弾くことを意味するのであるが、認知度は非常に低いため、数年前に付け加えた。諸説あるが、現在の箏曲の創始者・八橋検校も三味線の名手であったし、その孫弟子にあたる生田検校が、それまで独立して箏は箏、三味線は三味線で弾き歌いしていたのを合奏することをはじめ、生田流を創始したとされる。当時の検校さんは、箏も三味線も弾けたことが合奏を始めたことにつながっているのだろう。そのため、箏も三味線も弾けて歌も歌えて一人前、というようになってしまった。

十七絃については聞かれない。絃が17本ある楽器だろう、と想像がつくのかもしれない。ご想像の通り、絃が17本ある宮城道雄が考案した低音楽器だが、実際は箏と弾き方が異なるところもある。音域的にはヴァイオリンとチェロに相当するので、ただ13本の絃が4本増えただけの楽器というわけにはいかない。

次に聞かれるのは、「胡弓も弾くのですか？二胡とは違う楽器ですか？」である。胡弓は日本の擦絃楽器で絃は通常3本、二胡は中国の楽器で絃は2本、

二胡の弓は2本の絃の間に挟まれていて、まったく違う楽器である。胡弓は私が弾く4種の楽器の中で唯一の持続音楽器である。音を出したらその後は減衰するのみで、クレッシェンドができない他の楽器と違い魅力的な部分は多いが、音高がとにかく不安定で音が続く分、難しい点もある。

以上の経緯があるため、箏、三味線に加え、必須ではないが、十七絃や胡弓も習う必要に迫られることがある状態になってしまった。

能楽や長唄は、自分の専門以外の楽器や謡・唄も勉強するが、正式な舞台では自分の専門以外を披露することはない。しかし、箏曲の場合は少なくとも箏、三味線、歌は正式な舞台でも演奏しなければならない。そこで困るのがレパートリーだ。Aの曲の箏のパートはいつでも弾けるが、三味線はちょっと・・・とか、Bの曲はどのパートでも大丈夫とか。少し違うかもしれないが、ヴァイオリンソナタで、ヴァイオリンパートでもピアノパートでもどちらもレパートリーですよ、といった感じだろうか。しかも、五線譜で書かれた現代曲以外は、たとえ尺八の会の伴奏であっても基本的にすべて「暗譜」である。ソロ曲が多く伴奏時には楽譜を見ているピアノや、弦楽四重奏とは状況が異なる。

このような状況で箏を中心に江戸時代から現代までの作品を弾いているが、一人で何役もやらなければならない大変さと同時に、一つの曲をいろいろな角度から演奏できる楽しさを感じている。



写真 箏：安藤政輝

地歌三絃：石井まなみ

胡弓：安藤珠希

新入会員紹介

個人情報に付き削除しています。

個人情報に付き削除しています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 豊田典子さん 「歌の会★青い星が贈る 世界の名曲 100 曲リクエストコンサート」
日 時：2017 年 7 月 17 日 (月・祝) 14:00 開演
会 場：国際楽器社 ミュージックサロン
料 金：2,500 円 (前売り 2,000 円)
主 催：歌の会★青い星
演 奏 者：豊田典子 松永美紗子 岡田征士郎他
曲 目：「キャッツ」よりメモリー「浜辺の歌」「埴生の宿」他
連 絡 先：フェリーチェ音楽院 0798-69-3301
- 深井尚子さん 「深井尚子ピアノリサイタル～名曲をトークとともに～」
日 時：2017 年 10 月 7 日 (土)
会 場：スタインウェイサロン松尾ホール
料 金：4000 円
主 催：ブルンネン・ミュージック東京
演 奏 者：深井尚子、小原圭
曲 目：モーツァルト：ピアノソナタ K.331、ベートーヴェン：ピアノソナタ Op.27-2、
チェロソナタ第 1 番、ブラームス：チェロソナタ第 1 番
- 高旗健次さん 「高旗健次ヴァイオリンリサイタル」
日 時：2017 年 10 月 14 日 (土)14 時半開演 (14 時開場)
会 場：東広島芸術文化ホールくらら 小ホール (広島県東広島市)
料 金：一般：3,000 円, くららフレンズ：2,500 円 (前売り・当日とも)、
学生：1000 円 (当日 1,500 円)
主 催：広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学講座弦楽研究室、
共 催：東広島芸術文化ホール指定管理者
演 奏 者：高旗健次 Vn, (広島大学大学院教授)、垣内敦 Pf. (エリザベト音楽大学准教授)
曲 目：E. シュールホフ：無伴奏ヴァイオリンソナタ・R. シュトラウス：ソナタ、他

宮田知絵さん
劉 麟玉さん

第 32 回 国民文化祭・なら 2017 応援事業奈良のわらべうたコンサート

日 時：2017 年 10 月 28 日（土）午後 2 時、2017 年 10 月 29 日（日）午後 2 時
会 場：王寺町地域交流センター：リーベルホール（28 日）奈良市立音声館（29 日）
料 金：無料
出 演 者：宮田知絵 (Sop.) 劉麟玉 (Pf.)、他
＋奈良教育大学音楽講座学生、帝塚山大学現代生活学部こども学科学生
主な曲目：〈奈良の大仏さん〉《日本のおもちゃうた》より〈おまつりはどこ〉〈お手玉と
おはじき〉、他
主 催：奈良教育大学音楽教育講座 帝塚山大学現代生活学部こども学科
後 援：奈良市教育委員会／奈良県教育委員会／王寺町教育委員会
問 合 せ：0742-27-9375（劉研究室）0742-41-4769（宮田研究室）

牛渡克之さん

東北ユーフォニアム・チューバキャンプ 2017

日 時：2017 年 9 月 23 日（土）～ 24 日（日）
会 場：いちのせき健康の森（岩手県一ノ関市）
料 金：20,000 円（受講料、宿泊費、食事、送迎バス代含む）
内 容：主としてアマチュア愛好家の啓蒙と教育。宿泊を伴うセミナー形式。
主 催：東北ユーフォニアム・チューバキャンプ 2017 実行委員会

牛渡克之さん

牛渡克之ユーフォニアムリサイタル Vol.12

日 時：東京公演 2017 年 11 月 27 日（月）、盛岡公演 2017 年 11 月 30 日（木）
会 場：葛飾シンフォニーヒルズアイリスホール マリオス小ホール
料 金：一般 3000 円、学生 2000 円（当日各 500 円増）*盛岡公演未定
出 演 者：牛渡克之 (Ep)、他
曲 目：イギリスの聖歌による変奏曲 (P. スパーク、スケルツォ (E.F. ゴールドマン
小協奏曲 (R. ヴィルヘルム)、デュオ・コンチェルトンテ (J. バーンズ) 他

杉山雄一さん

杉山雄一ヴィオラリサイタル

日 時：2017 年 12 月 3 日（日）14 時開演
会 場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
料 金：一般 3,500 円 学生 1,500 円
出 演 者：杉山雄一（ヴィオラ）とピアノ伴奏者
曲 目：ヴィオラとピアノのためのソナタ 第 1 番 作品 240 (D. ミヨー)、ヴィオラ
ロのための「パヴァーヌ」(P. エルサン) ヴィオラとピアノのためのソナタ 変
ロ長調 作品 36 (H. ヴュータン)
問 合 せ：大阪アーティスト協会 Tel. 06-6135-0503

藤原嘉文さん
大内邦靖さん

山梨から発信する 21 世紀の音楽創造 II ～山梨の作曲家による作品コンサート Part 2

日 時：2018 年 3 月 4 日（日）
会 場：キングスウェルホール（山梨県甲斐市）
料 金：無料
出 演 者：藤原嘉文 (Pf.)、大内邦靖 (Trb.)、他

曲 目：藤原嘉文《ドン・キホーテ》《コムソーヤの冒険》、
大内邦靖《System 7 for 3 trombones》、他
主 催：国立大学法人山梨大学教育学部、平成 29 年度文化庁「大学を活用した文化
芸術推進事業」
後 援：山梨県、山梨県教育委員会、NHK 甲府放送局、山梨日日新聞・山梨放送、他
問 合 せ：山梨大学教育学部芸術文化推進研究室 055-220-8250 yukitak@yamanashi.ac.jp

会員による新刊・CD 等リリース

- 寺内大輔さん 楽譜『三人姉妹—ヴァイオリン、ギター、ピアノのために (Three Sisters for violin, guitar and piano)』
2010 年作曲、2017 年 8 月発行、Verlag Neue Musik (ベルリン) ISBN 978-3-7333-0869-8, ISMN: M-2032-1718-3, Product No.: NM1363
定価：32,80 EUR (incl. 7 % Tax)
- 村尾忠廣さん 保育士・教員養成用ピアノ教則本「ピアノも歌う」
2017 年 9 月 20 日発行、ファウエム ミュージック コーポレーション
ISBN978-4-9905887-4-8
定価：1,800 円 (税込)



事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。年会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：同封のゆうちょ銀行青色の「払込取扱票」をご利用ください。

電信での送金は、内容確認が困難であり混乱の原因となります。学会では、財務局での入金確認作業を確実にするため、学会で印字した「払込取扱票」の利用をお願いしております。何卒ご協力ください。

振込先：郵便局の振込み口座 01370-6-78225 名 義：日本音楽表現学会

* 海外在住等、国内でのお振込みが難しい方は、事務局へご相談ください。

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式 (20170321版)：

被災による年会費減免願	
年 月 日	
日本音楽表現学会	
会長 後藤 丹 様	
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。	
なお、(〇〇〇〇)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
現在の連絡先：	_____
連絡先電話番号：	_____
e-mailアドレス：	_____
減免申請の理由 (具立的に納付困難の理由をお記してください。)	

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。このような手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

3. 学会会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学术论文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。2017年の申込み期日を忘れて発表の機会を逃した会員が数名ありました。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は、例年2月28日です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

本学会ホームページのリンクから〔コンサート等後援／協賛申請 フォーム〕にて事務局へ申請してください。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。また、HP及びニュースレターにも案内を掲載させていただきます。なお出演者氏名の掲載は会員のみとなります。

[コンサート等後援／協賛申請フォーム]

以下の項目それぞれ1行で39字以内を原則とする。

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出演者（会員）： _____

主な曲目： _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします。

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

著者名（会員）、書名（ISBN）、出版社、価格（税込）、購入方法なども含めてお知らせください。ニューズレターとHPに掲載します。

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法：価格変更

メール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
2～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

なお、Vol.1は残部がありません。

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。会員価格にて購入いただけます。

購入申込：メールで事務局までお申し込み下さい。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 加入者：日本音楽表現学会 口座：01370-6-78225

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。 氏名： _____ 部数： _____ 送付先： _____ 連絡用E-mail： _____

6. 入会手続きについて

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・ 入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・ 学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・ お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

入 会 申 込 書	
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。	
年 月 日	
氏名（ふりがな）：	_____
専門分野：	_____
所 属：	_____
自宅住所：〒	_____
連絡先：（上記と異なる場合）〒	_____
連絡先 Tel.：	_____
e-mail：	_____
推薦者名（学会員・1名）	_____
音楽表現学会に期待されること。ご意見等：	

7. 退会手続きについて

退会には以下の3点が必要です。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

[退会願書フォーム]

退 会 願	
	年 月 日
日本音楽表現学会 会長 後藤 丹 様	
このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
連絡先：	_____
連絡先 Tel.：	_____
e-mail：	_____
退会理由：	



第 16 回大会発表募集

第 16 回大会は本誌 p.19-20 にご案内していますように、2018 年 6 月 9 日（土）-10 日（日）に広島文化学園大学において開催されます。つきましては、会員のみなさまの発表を以下のとおり募集します。日本音楽表現学会ではこれまで音・音楽表現の例示のために他学会よりも発表時間を長くしてきました。発表数が激増した場合には、90 分枠を短くせざるを得ない状況も考えられます。そのような場合にはご理解をいただければ幸いです。日頃のご研究をお持ちよりいただき、会員のみなさまと共有、意見交換をしませんか。なお、事務局では発表日切日のリマインダーメールは送りません。会員のみなさまには期日をお忘れなきよう、多数のお申し込みをお待ちしています。

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

発表形態と時間：

研究発表	会員個人による研究発表 30 分と質疑 10 分	40 分
共同研究	2 人以上の共同による研究発表と質疑	内容により 40 分または 85 分
ワークショップ	実践体験を含むプレゼンテーションと質疑	内容により 40 分または 85 分
デモンストレーション	VTR 作品上映などと質疑	内容により 40 分または 85 分

発表申込：発表申込：発表タイトルと発表形態および 200 ～ 400 字の発表要旨を下記の様式にしたがってメールでお申し込みください。

発表申込資格：申込みの時点で 2017 年度会費までを完納している会員

日 切：2018 年 2 月 28 日（水）

申 込 先：学会事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 宛。

* 『大会要項』原稿についての詳細は、申込受付後に申込者にお知らせします。

申込様式

日本音楽表現学会第 16 回大会に発表を申し込みます。

なお、2017 年度までの年会費は納入済です。

1. 氏 名 _____
2. 連絡先住所 〒 _____
電 話 _____
E-mail _____
3. 年会費納入状況 _____年 _____月 _____日に 2017 年度まで会費を完納しました。
4. 発表形態と題目 該当欄に○をつけて、必要事項をご記入ください。
() 研究発表 題目 _____
() 共同研究 題目 _____ 希望所要時間 () 40 分 () 85 分
() ワークショップ 題目 _____ 希望所要時間 () 40 分 () 85 分
() デモンストレーション 題目 _____ 希望所要時間 () 40 分 () 85 分
4. 発表要旨 (200 ～ 400 字)

日本音楽表現学会第16回大会のご案内

会 場：広島文化学園大学広島長東キャンパス（〒731-0136 広島県広島市安佐南区長東西3-5-1）
 会 期：2018年6月9日（土）—10日（日）
 愛 称：未定

基調講演「音楽はいかにヒロシマを伝えてきたか」（仮）原田 宏司

レクチャーコンサート「原爆の記憶と音楽」（案）

第1部 被爆体験者（直接/間接的体験者）の表現

第2部 原爆詩（被爆詩人によるテキスト）の表現

第3部 戦争体験者、被爆二世の作曲家の表現

趣旨：戦争や原爆の体験を語ることは難しい。とりわけ原爆のような未曾有の大惨事を体験した者にとっては、凄惨な記憶を呼び起こすことへの強い抵抗とともに、他者（とりわけ体験していない者）と記憶を決して共有できないというもどかしさがあるだろう。ただし、言葉で語ることは難しくとも、音であれば表現できる場合もあるかもしれない。被爆から70年が過ぎ、被爆体験の風化と継承が叫ばれる中、音楽による記憶の共有と継承の可能性について、いくつかの音楽作品を聴きながら考える機会としたい。

参加申込期間

参加申込書や振替票は3月31日発行のニューズレターに同封します。

参加申込期間は4月1日（日）から5月26日（土）です。

日程の概略

- ・研究発表やワークショップ等は全て10日（日）になります。
- ・発表の申込数によっては10日の開始時刻や閉会時刻その他を変更する場合があります。
- ・最終日程は2018年3月31日発行予定のNL2017-No.3でお知らせします。
- ・今回のサロンは、懇親会移動に1時間かかるために短縮して1時間です。

連絡担当の会員は、そのことをお含みの上企画してください。

9日（土）											
10:00	12:20	13:00	13:15	13:20	15:20	15:40	16:40	16:50	17:50	19:00	21:00
実行委員会 会場準備 委員会 編集委員会	受付 5F ロビー	開会式	基調講演—レクチャーコンサート			休憩	総会	休 憩	サロン 各室	移 動	懇親会 ホテル メルパルク広島

10日（日）										
9:00	9:15—10:45	11:00—12:30		13:30—15:00		15:15—16:45				16:45—18:00
受付 本館 ロビー	分科会Ⅰ 各室	分科会Ⅱ	昼食 学生食堂	分科会Ⅲ 各室	分科会Ⅳ	閉会			撤収復元 理事会	

実行委員会

委員長：原田 宏司（広島文化学園大学）

実行委員：

権藤 敦子（広島大学）	末永 雅子（広島文化学園大学）	伊藤 憲孝（福山平成大学）
高旗 健次（広島大学）	高橋 千絵（広島文化学園大学）	大野内 愛（広島文教女子大学）
寺内 大輔（広島大学）	山下 敬子（広島文化学園大学）	竹下可奈子（広島大学院生）
徳永 崇（広島大学）	松前 良昌（広島大学附属東雲中学校）	長山 弘（広島大学院生）
光平 有希（国際日本文化研究センター）		

日本音楽表現学会第16回大会 (つづき) 会 場：広島文化学園大学広島長東キャンパス
会 期：2018年6月9日(土) — 10日(日)

実行委員会からのメッセージ

第16回大会は、平和な未来へと思いをこめながら、被爆地ヒロシマで開催いたします。皆様のお越しを心よりお待ちしております。可能でしたら、開会前に一寸平和記念公園をお訪ねください。平和記念資料館東館地下には、実行委員会企画と関係の深い「ヒロシマと音楽」委員会が中心になって収集した音楽資料も収められています。資料館は8:30から、情報資料室は9:00からオープンしています。

詳しくは広島平和記念資料館平和データベースで。 <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/database/>
(本館はリニューアル工事中のため、東館のみ)

広島文化学園大学広島長東キャンパスへのアクセス <http://www.hbg.ac.jp/access/index.html#select2-1>

A: JR 広島駅南口⑩バス乗場から「広島文化学園」行、または「広島文化学園・祇園が丘」行 バス乗車。約30分。

八丁堀・紙屋町・横川駅前経由「広島文化学園」下車。

(参考) 今年度のバス時刻表 http://www.hiroko-group.co.jp/kotsu/rosen_jikoku/jikokupdf/hirabara.pdf

B: JR 広島駅から JR 可部線「安芸長束」駅下車。約15分。下車後、徒歩約800m坂を登ります。

(参考) JR 時刻表 http://ekikara.jp/newdata/line/2701311/download_1.htm

C: 広島空港からリムジンバス

①「広島バスセンター」行 約50分。紙屋町から上記A

②「広島駅新幹線口」行 約45分。広島駅前から上記AまたはB

(参考) リムジンバス <http://www.hij.airport.jp/timetable/access/timetable.pl?mode=jp>

懇親会場ホテルメルパルク広島 JR 広島駅から会場へ向かう途上にあり、近くに原爆ドーム、平和記念公園があります。

2017年度役員・委員等一覧

<p>会 長：後藤 丹 副 会 長：小西 潤子 加藤富美子 事 務 局 長：豊田 典子 財 務 局 長：應和 恵子 理 事：木下 千代 (事務局担当) 海津 幸子 (財務局担当) 藤原 嘉文 (総務担当) 安藤 珠希 (総務担当)</p> <p>編集委員会： 委員長 吉永 誠吾 副委員長 水戸 博道 委員 大竹 紀子 尾見 敦子 上山 典子 齊藤 武 中 磯子 宮本賢二郎</p>	<p>著作権ワーキング： 代表 中村 滋延 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 福本 康之</p> <p>選挙管理委員会： 委員長 笹野恵理子 委員 大澤 智恵 檜下 達也</p> <p>監事： 渡会 純一 小畑 郁男</p>	<p>会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 杉江 淑子 安田 香</p> <p>参事：(事務局) 似内裕美子 (事務局) 林 萌 (情報関連) 近藤 晶子</p> <p>デザイン室長：奥 忍 (スタッフ：水江 沙耶)</p>
---	---	--

編 集 後 記

あっという間に師走。1年が瞬く間に過ぎてゆくように感じられますが、皆さんはいかがでしょう？
ニュースレター2017年度No.2をお届けします。今号には会長・理事選挙の記事が掲載されています。理事になって以来常にドタバタと対応に追われ、気がついたら来年の6月で2期満了。この3年半何と早かったことか。この学会のために少しでもお役に立てているのだろうか、と思う今日この頃ですが、そんな感慨にふける間もなく第16回大会が迫ってきました。役員一同一丸となって取り組んでいこうと決意を新たにしております。

今回は第1回大会(エリザベト音楽大学)以来の広島での開催です。会員数も500名を越し、大きく成長した姿で設立大会の地に戻ってきました。今回は広島文化学園大学にお世話になります。研究発表の募集もあります。奮ってご応募下さい。来年もみなさんにとって良い年でありますように。(藤原嘉文)